

2016 年度会津大学生の生活と意識 1

—基礎集計—

中澤 謙・菊地 則行

I 問題と目的

本調査は、会津大学の教育・学生支援環境を点検・整備するための資料を得るために、会津大生の生活と意識・行動を多面的に分析することを目的としている。今本調査は1998年、2000年、2002年、2004年、2006年、2008年、2010年、2012年、2014年に続く第10回目の調査である。

調査内容は、以下の通りである。

1. 基本的属性

(1)対象者の学年構成・性別、(2)年齢、(3)出身高校・課程、(4)入学経路

2. 一日の生活

(1)現在の住まい、(2)主な通学方法、(3)登校日数、(4)起床時間、(5)就寝時間、
(6)運動頻度、(7)課外活動

3. 経済生活

(1)収入・支出、(2)アルバイト経験、(3)アルバイト先

4. 学習生活

(1)勉強時間、(2)専門科目の学習理解、(3)出席率、(4)発達

5. 充実感、友人関係、退・休学、学生生活意欲

(1)充実感、(2)友人関係、(3)退学、(4)休学、(5)学生生活意欲

6. 進路

(1)卒業後の進路選択、(2)仕事の目標と職業、(3)進路と大学生活、(4)役立っている大学生活

7. 健康

(1)不安・悩みの有無、(2)不安・悩みの種類、(3)喫煙の有無、(4)飲酒の有無、(5)インターネット依存、(6)体重のコントロール、(7)違法薬物の使用、(8)違法薬物の誘い、(9)受動喫煙の害、(10)身体的健康、(11)精神的健康、(12)朝食の有無、(13)学生相談室・保健室、(14)就学支援室・進学支援室、(15)勉強や研究で困った際の対処

8. その他

(1)セクシャルハラスメント、(2)放射線等の心配、(3)放射線等の対策、

II 調査方法

質問紙調査法を用い、大学が行う定期健康診断時（2016年4月）に調査用紙を配布し、その場で記入を求め回収した。なお、回答は無記名である。

Ⅲ 調査結果

本調査では前年度のことと現在のことの両方について質問している。したがって、前年度についての回答を記述する際には、たとえば、2年生の回答を1年生の時という意味で1年次と表記する。以下同様に、3年生を2年次、新4年生を3年次と表記する。留年生については前年度に新4年生だったか留年生だったのかが区別できないので留年生と表記する。また、留年生には留年生活の長さがさまざまな学生が含まれているので、留年生のデータは参考データとして掲載した。したがって、学年間の比較では留年生との比較は参考データである。

1. 基本的属性

(1) 学年及び性別

回答者（標本）の学年構成は、2年生が125名、3年生が162名、新4年生が138名、留年生が22名の計450名である。回答者の在籍者に対する比率は、2年生が51.4%、3年生が67.5%、4年生が63.0%、留年生が50.9%である。在籍者（母集団）に対し、2年生と留年生の回答率が低い。

Q1 学年 1 2年生 2 3年生 3 新4年生 (S121) 4 4年生 (S120 以前)

Q3 性別 1 男 2 女

回答率	学年				合計
	1 2年生	2 3年生	3 新4年生	4 留年生	
1 男	51.4%	67.9%	60.2%	46.3%	58.6%
2 女	52.0%	64.5%	82.1%	0.0%	69.4%
全体	51.4%	67.5%	63.0%	50.9%	59.4%

学生数（休学者除く）		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 新4年生	4 留年生	
1 男	度数	218	209	191	54	672
	学年の%	89.7%	87.1%	87.2%	98.2%	88.8%
2 女	度数	25	31	28	1	85
	学年の%	10.3%	12.9%	12.8%	1.8%	11.2%
合計	度数	243	240	219	55	757
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q3と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q3	1 男	度数	112	142	115	25	394
		学年の%	89.6%	87.7%	83.3%	100.0%	87.6%
	2 女	度数	13	20	23	0	56
		学年の%	10.4%	12.3%	16.7%	0.0%	12.4%
合計		度数	125	162	138	25	450
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 年齢

各学年における年齢の平均は、2年生 19.3、3年生 20.1、4年生 21.1 である。

Q2 年齢 [] 歳

		学年			
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生
Q2	平均値	19.3	20.1	21.1	22.8
	最頻値	19.0	20.0	21.0	22.0
	最小値	19.0	19.0	20.0	21.0
	最大値	32.0	29.0	23.0	25.0
	中央値	19.0	20.0	21.0	23.0

(3) 出身高校及び出身高校の課程

出身高校の所在地は、全体で福島県内が 47.6%、福島県外が 52.4% である。学年別では 2 年生の福島県外の比率が高い。また、出身高校の課程は 3 つの学年とも普通科が多く、全体の 85.6% を占める。

Q4 出身高校の所在地 1 福島県内 2 福島県外

Q4 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q4	1 福島県内	度数	55	75	70	14	214
		学年の%	44.0%	46.3%	50.7%	56.0%	47.6%
	2 福島県外	度数	70	87	68	11	236
		学年の%	56.0%	53.7%	49.3%	44.0%	52.4%
合計		度数	125	162	138	25	450
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q5 出身高校の課程 1 普通科 2 専門学科 3 その他 []

Q5 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q5	1 普通科	度数	105	144	118	21	388
		学年の%	84.7%	89.4%	85.5%	84.0%	86.6%
	2 専門学科	度数	14	11	14	2	41
		学年の%	11.3%	6.8%	10.1%	8.0%	9.2%
	3 その他	度数	5	6	6	2	19
		学年の%	4.0%	3.7%	4.3%	8.0%	4.2%
合計		度数	124	161	138	25	448
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 入学経路

入学経路は、全体で推薦入試が 26.1%、一般入試が 73.9%である。

Q6 入学経路 1 推薦入試 2 一般入試

Q6 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q6	1 推薦入試	度数	29	41	44	3	117
		学年の%	23.2%	25.5%	31.9%	12.0%	26.1%
	2 一般入試	度数	96	120	94	22	332
		学年の%	76.8%	74.5%	68.1%	88.0%	73.9%
合計		度数	125	161	138	25	449
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2. 一日の生活

現在の住まいは、2年生の74.4%、3年生の84.4%、4年生の81.9%、留年生の80.0%、全体の80.6%が自宅外である。

(1) 現在の住まい

Q7 現在の住まい 1 自宅 2 自宅外

Q7と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q7	1 自宅	度数	32	25	25	5	87
		学年の%	25.6%	15.6%	18.1%	20.0%	19.4%
	2 自宅外	度数	93	135	113	20	361
		学年の%	74.4%	84.4%	81.9%	80.0%	80.6%
合計		度数	125	160	138	25	448
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 主な通学方法

主な通学方法は、自転車通学が2年生71.5%、3年生58.8%、4年生59.4%、留年生40.0%である。自家用車通学は2年生11.4%、3年生26.9%、4年生22.5%、留年生28.0%である。

Q8 主な通学方法（一つ選択）

1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自家用車 5 バス 6 鉄道

Q8と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q8	1 徒歩	度数	8	15	15	7	45
		学年の%	6.5%	9.4%	10.9%	28.0%	10.1%
	2 自転車	度数	88	94	82	10	274
		学年の%	71.5%	58.8%	59.4%	40.0%	61.4%
	3 バイク	度数	3	1	7	1	12
		学年の%	2.4%	0.6%	5.1%	4.0%	2.7%
	4 自家用車	度数	14	43	31	7	95
		学年の%	11.4%	26.9%	22.5%	28.0%	21.3%
	5 バス	度数	2	3	2	0	7
		学年の%	1.6%	1.9%	1.4%	0.0%	1.6%
	6 鉄道	度数	8	4	1	0	13
		学年の%	6.5%	2.5%	0.7%	0.0%	2.9%
合計		度数	123	160	138	25	446
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 登校日数

登校日数の平均値は、1年次が5.2日、2年次が4.9日、3年次が4.5日、留年生が4.3日である。

Q19 昨年度、平均して週に何日大学に来ましたか。

[] 日/週

		学年			
		1年次	2年次	3年次	留年生
Q19	平均値	5.2	4.9	4.5	4.3
	最頻値	5.0	5.0	5.0	5.0
	最小値	5.0	0	1.0	.0
	最大値	7.0	7.0	7.0	7.0
	中央値	5.0	5.0	5.0	5.0

(4) 起床時間

起床時間は午前7時台と8時台合計で全体の57.4%を占め、最も多い。

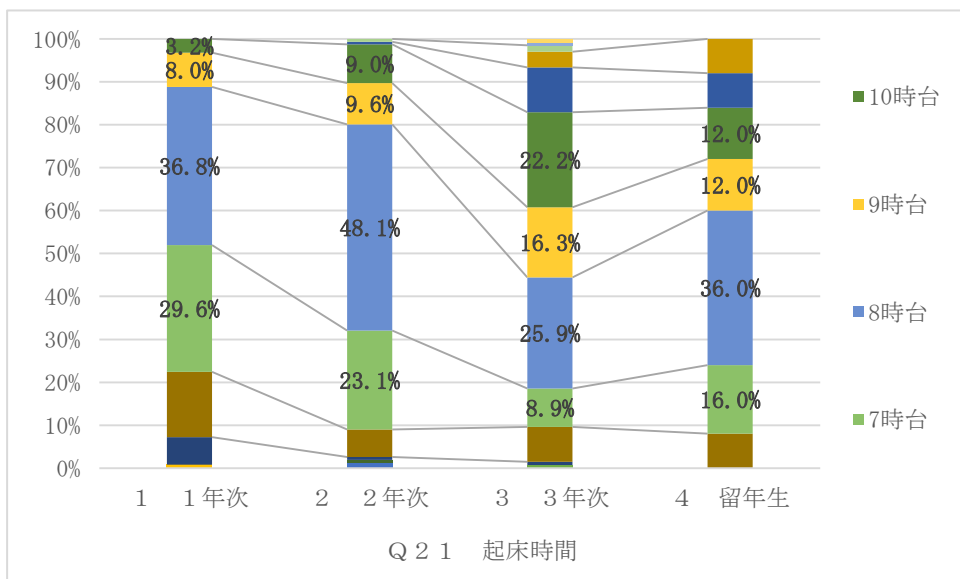
Q21 昨年度の平均的な起床時刻は

午前・午後 [] 時台 例：午前 [7] 時台

Q21 と 学年 の クロス表

学年の%

		学年				合計
		1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q21	0			0.7%		0.2%
	1		1.3%			0.5%
	3	0.8%				0.2%
	4		0.6%			0.2%
	5	6.4%	0.6%	0.7%		2.3%
	6	15.2%	6.4%	8.1%	8.0%	9.5%
	7	29.6%	23.1%	8.9%	16.0%	20.2%
	8	36.8%	48.1%	25.9%	36.0%	37.4%
	9	8.0%	9.6%	16.3%	12.0%	11.3%
	10	3.2%	9.0%	22.2%	12.0%	11.6%
	11		0.6%	10.4%	8.0%	3.9%
	12			3.7%	8.0%	1.6%
	13		0.6%	1.5%		0.7%
	22			0.7%		0.2%
	23			0.7%		0.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(5) 就寝時間

全体の約 75%の学生が午前 0 時～午前 2 時台に就寝している。午前 3 時台の就寝は 3 年次が多い。

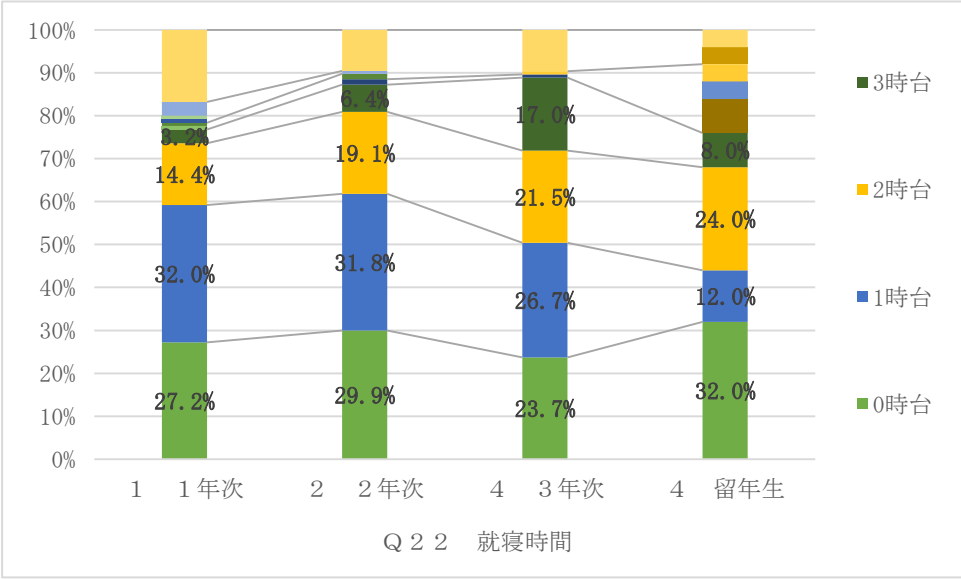
Q22 昨年度の平均的な就寝時刻は

午前・午後 [] 時台 例：午前 [0] 時台

Q22 と 学年 の クロス表

学年の %

	学年				合計
	1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q22 0	27.2%	29.9%	23.7%	32.0%	27.4%
1	32.0%	31.8%	26.7%	12.0%	29.2%
2	14.4%	19.1%	21.5%	24.0%	18.8%
3	3.2%	6.4%	17.0%	8.0%	8.8%
4		1.3%	0.7%		0.7%
7				8.0%	0.5%
9	0.8%				0.2%
10				4.0%	0.2%
12			0.7%	4.0%	0.5%
13	0.8%	1.3%			0.7%
14	0.8%				0.2%
19				4.0%	0.2%
21	0.8%				0.2%
22	3.2%	0.6%			1.1%
23	16.8%	9.6%	9.6%	4.0%	11.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(6) 運動頻度

昨年度の体育実技の時間を除いて運動を行った学生は、全体の 43.0% (2.01 回/週) である。学年別では 1 年次が 52.8% (中央値 2.0 回/週)、2 年次が 35.5%(中央値 1.0 回/週)、3 年次が 32.6%(中央値 1.0 回/週)、留年生が 28.0% (中央値 2.0 回/週) である。

Q23 昨年度、平均して週何回くらいスポーツなどの運動をしていましたか (体育の授業は除いて)。

- 1 [] 回/週 2 運動しなかった

Q23 と 学年 の クロス表

			学年				合計
			1 1 年次	2 2 年次	3 3 年次	4 留年生	
Q23 1	度数		66	55	44	7	172
	学年の%		52.8%	35.5%	32.6%	28.0%	39.1%
2	度数		59	100	91	18	268
	学年の%		47.2%	64.5%	67.4%	72.0%	60.9%
合計	度数		125	155	135	25	440
	学年の%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

		学年			
		1 1 年次	2 2 年次	4 3 年次	4 留年生
Q23FREQ	平均値	1.9	2.0	2.1	1.9
	最頻値	1.0	1.0	1.0	2.0
	最大値	5.0	7.0	7.0	3.0
	最小値	1.0	.0	.0	1.0
	中央値	2.0	1.0	1.0	2.0

(7) 課外活動

昨年度の課外活動に「1 参加していた」の比率は、全体の 52.9%である。学年別では1年次が 58.9%、2年次が 56.1%、3年次が 50.0%、留年生が 20.0%である。

Q27 昨年度、課外活動（クラブ・サークル活動など）に参加していましたか。

1 参加していた 2 参加していたが活動していなかった 3 参加していたがやめた 4 参加したことがない

Q27 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q27 1	度数	73	88	68	5	234	
	学年の%	58.9%	56.1%	50.0%	20.0%	52.9%	
2	度数	21	27	18	2	68	
	学年の%	16.9%	17.2%	13.2%	8.0%	15.4%	
3	度数	9	16	16	8	49	
	学年の%	7.3%	10.2%	11.8%	32.0%	11.1%	
4	度数	21	26	34	10	91	
	学年の%	16.9%	16.6%	25.0%	40.0%	20.6%	
合計	度数	124	157	136	25	442	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

3. 経済生活

(1) 収入・支出

収入・支出の額は当該収入・支出があった学生の平均・最頻値である。

1) 自宅通学生

総収入は、1年次の平均が4万7千円（最頻値0万円）、2年次の平均が4万3千円（最頻値7万円）、3年次の平均が9万5千円（最頻値3万円ほか）である。

学費を除く家族からの援助は、1年次の平均が2万円（最頻値1万円）、2年次の平均が3万2千円（最頻値5千円ほか）、3年次の平均が3万8千円（最頻値4万円）である。

アルバイトの収入は、1年次の平均が3万2千円（最頻値3万円ほか）、2年次の平均が3万3千円（最頻値2万円）、3年次の平均が5万3千円（最頻値3万円）である。

奨学金の収入は、1年次の平均が6万6千円（最頻値3万円）、2年次の平均が6万2千円（最頻値8万円ほか）3年次の平均が6万4千円（最頻値5万円）である。

総支出は、1年次の平均が4万3千円（最頻値3万円）、2年次の平均が3万8千円（最頻値2万円ほか）、3年次の平均が5万2千円（最頻値2万円ほか）である。

食費・外食費は、1年次の平均が1万3千円（最頻値2万円）、2年次の平均が2万5千円（最頻値2万円）、3年次の平均が2万円（最頻値3万円）である。

勉学費は、1年次の平均が1万3千円（最頻値2千円ほか）、2年次の平均が1万5千円（最頻値1万円）、3年次の平均が8千円（最頻値1万円）ある。

2) 自宅外通学生

総収入は、1年次の平均が8万8千円（最頻値10万円）、2年次の平均が8万8千円（最頻値10万円）、3年次の平均が8万5千円（最頻値9万円他）である。

学費を除く家族からの援助は、1年次の平均が5万3千円（最頻値5万円）、2年次の平均が5万4千円（最頻値3万円）、3年次の平均が5万2千円（最頻値5万円）である。

アルバイトの収入は、1年次の平均が4万1千円（最頻値3万円）、2年次の平均が4万4千円（最頻値3万円）、3年次の平均が3万7千円（最頻値3万円）である。

奨学金の収入は、1年次の平均が7万1千円（最頻値5万円）、2年次の平均が6万円（最頻値5万円ほか）3年次の平均が6万8千円（最頻値5万円）である。

総支出は、1年次の平均が6万3千円（最頻値5万円）、2年次の平均が6万6千円（最頻値8万円）、3年次の平均が6万7千円（最頻値8万円）である。

家賃は、1年次の平均が3万7千円（最頻値4万円）、2年次の平均が4万円（最頻値4万円）、3年次の平均が3万7千円（最頻値3万円）である。

食費・外食費は、1年次の平均が2万7千円（最頻値2万円）、2年次の平均が2万5千円（最頻値3万円）、3年次の平均が2万8千円（最頻値3万円）である。

勉学費は、1年次の平均が1万3千円（最頻値1万円）、2年次の平均が1万4千円（最頻値1万円）、3年次の平均が1万1千円（最頻値1万円）である。

II 昨年度(2015年4月～2016年3月)のあなたのおよその1ヶ月平均収入・支出を教えてください。収入・支出がない項目は「1
ない」に○をつけてください。

収入(1ヶ月平均)

支出(1ヶ月平均)

Q9 総収入 []万 []千円 Q13 総支出 []万 []千円

Q10 家族からの援助(学費は除く) 1ない 2ある→ []万 []千円 Q14 家賃 1ない 2ある→ []万 []千円
1ない 2ある→ []万 []千円 Q15 食費 1ない 2ある→ []万 []千円

Q11 アルバイト 1ない 2ある→ []万 []千円 Q16 図書、雑誌代等の勉学費(学費は除く)
1ない 2ある→ []万 []千円

Q12 奨学金 1ない 2ある→ []万 []千円

収入・収支(単位 万円)

			1年次			2年次			
			最頻値	平均値	標準偏差	最頻値	平均値	標準偏差	
収入	Q-9 総収入	自宅 N=19	0.0	4.7	2.5	自宅 N=17	7.0	4.3	3.6
		自宅外 N=77	10.0	8.8	4.3	自宅外 N=110	10.0	8.8	5.0
	Q-10 家族からの援助	自宅 N=10	1.0	2.0	1.7	自宅 N=11	0.5&1.0	3.2	2.5
		自宅外 N=72	5.0	5.3	2.5	自宅外 N=94	3.0	5.4	3.1
	Q-11 アルバイト	自宅 N=8	3.0	3.2	1.1	自宅 N=17	2.0	3.3	2.3
		自宅外 N=51	3.0	4.1	2.5	自宅外 N=70	3.0	4.4	2.2
	Q-12 奨学金	自宅 N=17	3.0	6.6	7.8	自宅 N=5	5.0	6.2	2.4
		自宅外 N=43	5.0	7.1	8.8	自宅外 N=61	5.0	6.0	2.8
支出	Q-13 総支出	自宅 N=18	3.0	4.3	5.3	自宅 N=13	2.0&5.0	3.8	3.0
		自宅外 N=80	5.0	6.3	2.2	自宅外 N=108	8.0	6.6	2.7
	Q-14 家賃	自宅 N=3	-	-	-	自宅 N=4	-	-	-
		自宅外 N=72	4.0	3.7	1.1	自宅外 N=101	4.0	4.0	0.9
	Q-15 食費・外食費	自宅 N=9	2.0	1.3	0.8	自宅 N=8	2.0	2.5	1.3
		自宅外 N=83	2.0	2.7	1.7	自宅外 N=110	3.0	2.5	1.0
	Q-16 勉学費	自宅 N=11	0.2&0.5	1.3	1.1	自宅 N=6	1.0	1.5	1.8
		自宅外 N=37	1.0	1.3	1.4	自宅外 N=59	1.0	1.4	1.5

収入・収支(単位 万円)

		3年次			
			最頻値	平均値	標準偏差
収入	Q-9 総収入	自宅 N=20	3.0&6.0 &10.0	9.5	6.9
		自宅外 N=90	9.0	8.5	4.1
	Q-10 家族からの援助	自宅 N=16	4.0	3.8	2.4
		自宅外 N=81	5.0	5.2	3.0
	Q-11 アルバイト	自宅 N=17	3.0	5.3	2.8
		自宅外 N=57	3.0	3.7	1.8
	Q-12 奨学金	自宅 N=6	5.0	6.4	3.6
		自宅外 N=59	5.0	6.8	7.7
支出	Q-13 総支出	自宅 N=22	2.0&2.5 &3.0&6.0	5.2	3.0
		自宅外 N=97	8.0	6.7	2.9
	Q-14 家賃	自宅 N=7	-	-	-
		自宅外 N=83	3.0	3.7	1.1
	Q-15 食費・外食費	自宅 N=12	3.0	2.0	1.2
		自宅外 N=102	3.0	2.8	2.1
	Q-16 勉学費	自宅 N=12	1.0	0.8	0.5
		自宅外 N=53	1.0	1.1	1.0

(2) アルバイト経験

アルバイト経験のある学生は、1年次で67.2%、2年次で75.9%、3年次で71.7%で、留年生で68.0%である。2年次以上でアルバイトをする学生が増えている。年間を通じてアルバイトをする学生が相対的に多く、1年次で32.8%、2年次で41.1%、3年次で31.2%、留年生で56.0%である。

Q17 アルバイトを行いましたか。

- 1 しなかった (Q19へ) 2 長期休暇中のみ 3 必要に応じてそのつど
4 授業期間中定期的に：平均、週 [] 日 5 年間を通じて：平均、週 [] 日

Q17 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q17	1	度数	41	38	39	8	126
		学年の%	32.8%	24.1%	28.3%	32.0%	28.3%
	2	度数	12	10	5	1	28
		学年の%	9.6%	6.3%	3.6%	4.0%	6.3%
	3	度数	16	25	25	2	68
		学年の%	12.8%	15.8%	18.1%	8.0%	15.2%
	4	度数	15	20	26	0	61
		学年の%	12.0%	12.7%	18.8%	.0%	13.7%
	5	度数	41	65	43	14	163
		学年の%	32.8%	41.1%	31.2%	56.0%	36.5%
合計		度数	125	158	138	25	446
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) アルバイト先

アルバイト先は、1年次で「2 物販」(29.4%)、「3 教師」(28.2%)が多い。2年次以降は「1 飲食」が多く、2年次で34.2%、3年次で32.7%、留年生で43.8%である。「4 IT」関係は全学年とも10%弱である。

Q18 それはどんなアルバイトでしたか。複数ある場合は主なものを2つ選んでください。

- 1 飲食 (レストランなど) 2 物販 (コンビニなど) 3 家庭教師・塾講師 4 IT関係
5 学内 (SA など) 6 その他 ()

\$Q18*Q1年次 クロス表

		学年				合計
		1 1年次	2 2年次	4 3年次	4 留年生	
\$Q18 ^a	1飲食 度数	16	41	33	7	97
	Q1年次 の %	18.8%	34.2%	32.7%	43.8%	
	2物販 度数	25	26	25	6	82
	Q1年次 の %	29.4%	21.7%	24.8%	37.5%	
	3教師 度数	24	30	20	2	76
	Q1年次 の %	28.2%	25.0%	19.8%	12.5%	
	4IT 度数	7	12	9	1	29
	Q1年次 の %	8.2%	10.0%	8.9%	6.3%	
	5学内 度数	5	11	14	1	31
	Q1年次 の %	5.9%	9.2%	13.9%	6.3%	
	6その他 度数	16	21	11	1	49
	Q1年次 の %	18.8%	17.5%	10.9%	6.3%	

パーセンテージはアルバイト経験者の数値

4. 学習生活

(1) 勉強時間

授業時間以外に勉強をしなかった学生は、1年次で 11.2%、2年次で 22.3%、3年次で 22.1%、留年生で 28.0%である。

授業時間以外の勉強時間は、1年次で 1.7 時間、2年次で 2.0 時間、3年次で 2.2 時間、留年生で 2.6 時間である。3年次、留年生は1年次よりも勉強時間が有意に長い。

Q20 昨年度、授業を受けている時間以外の勉強時間（課題のための時間を含む）は1日あたり平均して何時間でしたか。

1 [] 時間/日 2 勉強しなかった

Q20 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q20	1	度数	111	122	106	18	357
		学年の%	88.8%	77.7%	77.9%	72.0%	80.6%
	2	度数	14	35	30	7	86
		学年の%	11.2%	22.3%	22.1%	28.0%	19.4%
合計		度数	125	157	136	25	443
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q20 と 学年 のクロス表

	1年次	2年次	3年次	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	1.7	2.0	2.2	2.6	3年次、留年生 > 1年次
標準偏差	0.9	1.5	2.4	2.5	

(2) 専門科目の学習理解

専門科目の授業でその内容をほぼ理解できたと思える科目の割合は、1年次で5.7割、2年次で5.1割、3年次で5.6割、留年生で4.0割である。1年次は2年次、留年生よりも内容を理解できた授業の割合が有意に多い。

Q24 昨年度、受講した専門科目の授業のなかで、授業の内容をほぼ理解できたと思えるのは、全体の何割ぐらいの科目でしたか。

[] 割ぐらい

Q24 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 1年次	2 2年次	4 3年次	4 留年生	
Q24 0	度数	1	1	2	3	7
	学年の%	0.8%	0.6%	1.5%	11.1%	1.6%
1	度数	3	11	4	0	18
	学年の%	2.4%	7.1%	3.0%	0.0%	4.1%
2	度数	5	11	6	4	26
	学年の%	4.0%	7.1%	4.4%	14.8%	5.9%
3	度数	13	23	15	5	56
	学年の%	10.5%	14.7%	11.1%	18.5%	12.7%
4	度数	10	14	10	3	37
	学年の%	8.1%	9.0%	7.4%	11.1%	8.4%
5	度数	22	28	31	6	87
	学年の%	17.7%	17.9%	23.0%	22.2%	19.7%
6	度数	22	20	16	3	61
	学年の%	17.7%	12.8%	11.9%	11.1%	13.8%
7	度数	24	21	25	0	70
	学年の%	19.4%	13.5%	18.5%	0.0%	15.8%
8	度数	16	21	16	3	56
	学年の%	12.9%	13.5%	11.9%	11.1%	12.7%
9	度数	5	5	6	0	16
	学年の%	4.0%	3.2%	4.4%	0.0%	3.6%
10	度数	3	1	4	0	8
	学年の%	2.4%	0.6%	3.0%	0.0%	1.8%
合計	度数	124	156	135	27	442
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q24 と 学年 のクロス表

	1年次	2年次	3年次	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	5.7	5.1	5.6	4.0	1年次>2年次、留年生
標準偏差	2.1	2.3	2.2	2.4	

(3)出席率

授業の出席率は、1年次が9.3割、2年次が8.6割、3年次が8.6割、留年生が6.9割である。1年次は、2年次、3年次、留年生よりも出席率が有意に高く、2年次、3年次は留年生よりも出席率が有意に高い。

Q25 昨年度、授業の出席率は平均してどのくらいの割合ですか。

[] 割ぐらい

Q25 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 1年次	2 2年次	4 3年次	4 留年生	
Q25 0	度数	0	0	1	2	3	
	学年の%	0.0%	0.0%	0.7%	7.1%	0.7%	
1	度数	0	2	0	1	3	
	学年の%	0.0%	1.3%	0.0%	3.6%	0.7%	
3	度数	0	0	2	1	3	
	学年の%	0.0%	0.0%	1.5%	3.6%	0.7%	
4	度数	1	2	0	1	4	
	学年の%	0.8%	1.3%	0.0%	3.6%	0.9%	
5	度数	1	3	1	1	6	
	学年の%	0.8%	1.9%	0.7%	3.6%	1.4%	
6	度数	1	3	3	1	8	
	学年の%	0.8%	1.9%	2.2%	3.6%	1.8%	
7	度数	5	11	11	2	29	
	学年の%	4.1%	7.0%	8.1%	7.1%	6.6%	
8	度数	9	38	30	9	86	
	学年の%	7.4%	24.2%	22.2%	32.1%	19.5%	
9	度数	43	58	53	6	160	
	学年の%	35.5%	36.9%	39.3%	21.4%	36.3%	
10	度数	61	40	34	4	139	
	学年の%	50.4%	25.5%	25.2%	14.3%	31.5%	
合計	度数	121	157	135	28	441	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

Q25 と 学年 のクロス表

	1年次	2年次	3年次	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	9.3	8.6	8.6	6.9	1年次>2年次、3年次>留年生
標準偏差	1.0	1.5	1.5	3.0	

(4) 発達

「7 コンピュータを活用する力」以外の項目は、学年間の評価に有意な違いはみられないので、これ以外は全学年での平均値でみていく。

「1 文章を書く力」、「8 健康を保つ力」が全学年の平均値がそれぞれ 2.4 であり、伸びたとは評価されていない。

それ以外の7つの力は平均値が 2.5 以上であり伸びたと評価されている。とくに、「7 コンピュータを活用する力」は、2年生、3年生、4年生とも3点代で比較的に伸びた力であるとされている。また、「3人と協力してものごとをすすめる力」、「4 人間関係をつくる力」、「5 自分の意見を述べる力」は平均値がともに 2.9 であり、すこしは伸びた力として評価されている。

Q32 次のことは、大学に入学してからどのくらい伸びましたか。

4 おおいに伸びた 3 少しは伸びた 2 どちらともいえない 1 伸びなかった

1 文章を書く力	4	3	2	1
2 文章を読む力	4	3	2	1
3 人と協力してものごとを進める力	4	3	2	1
4 人間関係を作る力	4	3	2	1
5 自分の意見を述べる力	4	3	2	1
6 筋道を立てて考える力	4	3	2	1
7 コンピュータを活用する力	4	3	2	1
8 健康を保つ力	4	3	2	1
9 目標に向かって努力する力	4	3	2	1
10 それ以外で伸びた力は何ですか。				

Q32 全体

	平均値	標準偏差
1 書く	2.4	0.7
2 読む	2.5	0.7
3 協力	2.9	0.8
4 人間関係	2.9	0.8
5 意見	2.7	0.8
6 考える	2.9	0.7
7 コンピュータ	3.4	0.7
8 健康	2.4	0.9
9 目標	2.7	0.8

Q32-7(コンピュータ)と学年のクロス表

	2年生	3年生	4年生	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	3.4	3.3	3.5	2.9	4年生>3年生 2年生、3年生、4年生>留年生
標準偏差	0.8	0.7	0.7	1.0	

5. 充実感、友人関係、退・休学、大学生活意欲

(1) 充実感

学生生活の充実感は、1年次、2年次、3年次、留年生とも「4 どちらかといえば充実していた」が一番多く、1年次で55.2%、2年次で51.0%、3年次で48.5%、留年生で36.0%である。また、充実感を持った（選択肢5あるいは4に回答した）学生は、1年次で80.8%、2年次で73.9%、3年次で73.5%、留年生で44.0%である。

充実感は、平均値でみると1年次、2年次、3年次は留年生よりも有意に高い。

Q26 昨年度、あなたの学生生活は充実していましたか。

- 5 とても充実していた 4 どちらかといえば充実していた 3 どちらともいえない
2 どちらかといえば充実していなかった 1 まったく充実していなかった

Q26 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 1年次	2 2年次	3 3年次	4 留年生	
Q26	1	度数	2	2	6	6	16
		学年の%	1.6%	1.3%	4.4%	24.0%	3.6%
	2	度数	5	6	5	1	17
		学年の%	4.0%	3.8%	3.7%	4.0%	3.8%
	3	度数	17	33	25	7	82
		学年の%	13.6%	21.0%	18.4%	28.0%	18.5%
	4	度数	69	80	66	9	224
		学年の%	55.2%	51.0%	48.5%	36.0%	50.6%
	5	度数	32	36	34	2	104
		学年の%	25.6%	22.9%	25.0%	8.0%	23.5%
合計		度数	125	157	136	25	443
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q26 と 学年 のクロス表

	1年次	2年次	3年次	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	4.0	3.9	3.9	3.0	1年次、2年次、3年次 > 留年生
標準偏差	0.8	0.8	1.0	1.3	

(2) 友人関係

学習面で情報交換したり、助け合ったりできる友人がいるのは、2年生、3年生、4年生とも90%以上である。2年生が95.8%、3年生が92.8%、4年生が93.4%、留年生が56.5%である。

生活面の悩みや心配ごとを話せる友人がいるのは、2年生、3年生、4年生とも80%以上である。2年生が85.0%、3年生が83.0%、4年生が85.2%、留年生が69.6%である。

Q35 授業や課題、テストのことなど学習面で情報交換したり、助け合ったりできる友人がいますか。

1 いる 2 いない

Q36 生活面の悩みごとや心配ごとなどを気軽に話ができる友人がいますか。

1 いる 2 いない

Q35 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q35	1	度数 115	142	127	13	397
		学年の % 95.8%	92.8%	93.4%	56.5%	91.9%
	2	度数 5	11	9	10	35
		学年の % 4.2%	7.2%	6.6%	43.5%	8.1%
合計		度数 120	153	136	23	432
		学年の % 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

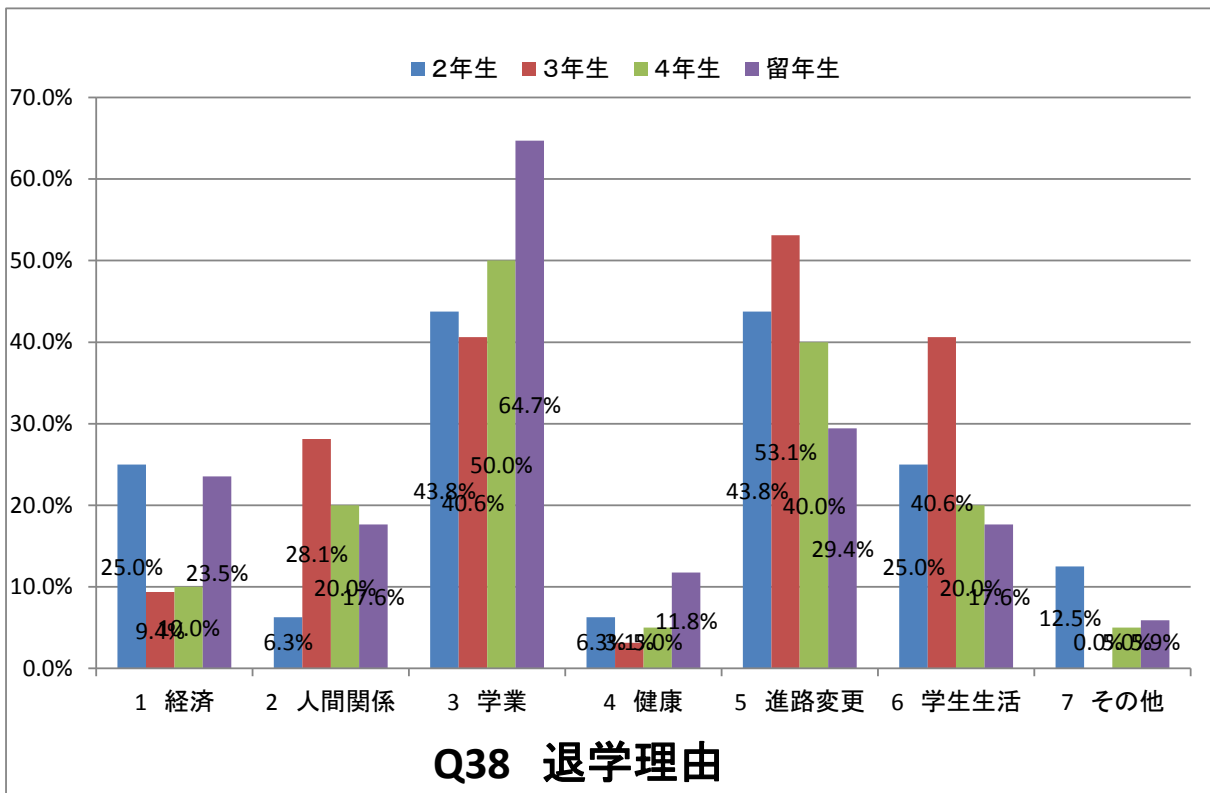
Q36 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q36	1	度数 102	127	115	16	360
		学年の % 85.0%	83.0%	85.2%	69.6%	83.5%
	2	度数 18	26	20	7	71
		学年の % 15.0%	17.0%	14.8%	30.4%	16.5%
合計		度数 120	153	135	23	431
		学年の % 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

\$Q38*Q1学年 クロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	4 4年生	4 留年生	
\$Q38 ^a	1 経済 度数	4	3	2	4	13
	Q1学年 の %	25.0%	9.4%	10.0%	23.5%	
	2 人間 度数	1	9	4	3	17
	関係 Q1学年 の %	6.3%	28.1%	20.0%	17.6%	
	3 学業 度数	7	13	10	11	41
	Q1学年 の %	43.8%	40.6%	50.0%	64.7%	
	4 健康 度数	1	1	1	2	5
	Q1学年 の %	6.3%	3.1%	5.0%	11.8%	
	5 進路 度数	7	17	8	5	37
	変更 Q1学年 の %	43.8%	53.1%	40.0%	29.4%	
	6 学生 度数	4	13	4	3	24
	生活 Q1学年 の %	25.0%	40.6%	20.0%	17.6%	
	7 その 度数	2	0	1	1	4
	他 Q1学年 の %	12.5%	0.0%	5.0%	5.9%	
合計	度数	16	32	20	17	85

パーセンテージは「考えたことがある」者の数値



(4) 休学

この一年の間に休学を考えたことのある学生は、「1 真剣に考えたことがある」と「2 少し考えたことがある」を合わせて、2年生で3.4%、3年生で10.5%、4年生で11.3%、留年生で59.15%である。

休学を考えた理由で多かったのは、全体としては、「3 学業」と「5 進路変更」である。3年生では「6 学生生活」(40.0%)である。4年生では「3 学業」(42.9%)、「5 進路変更」(50.0%)である。留年生では「3 学業」(61.5%)ある。

Q39 この一年の間に休学することを考えたことがありますか。

休学とは、何らかの理由で大学から許可を得て在籍のまま大学を長期間休むことです。

- 1 真剣に考えたことがある 2 少し考えたことがある
 3 休学制度は知っていたが、休学することを考えたことはない 4 休学制度を知らなかった

Q40 休学することを考えた理由は何ですか。理由が複数ある場合は、主な理由を2つまで選んでください。

[] []

- 1 経済上の理由（家庭からの仕送りが困難になったなど） 2 人間関係上の理由（人とうまくつきあえないなど）
 3 学業上の理由（授業についていけないなど） 4 健康上の理由（病気や精神的な悩みなど）
 5 進路変更上の理由（他にやりたいことがある、実社会に出たいなど）
 6 学生生活上の理由（大学生活がおもしろくないなど）
 7 その他（ ）

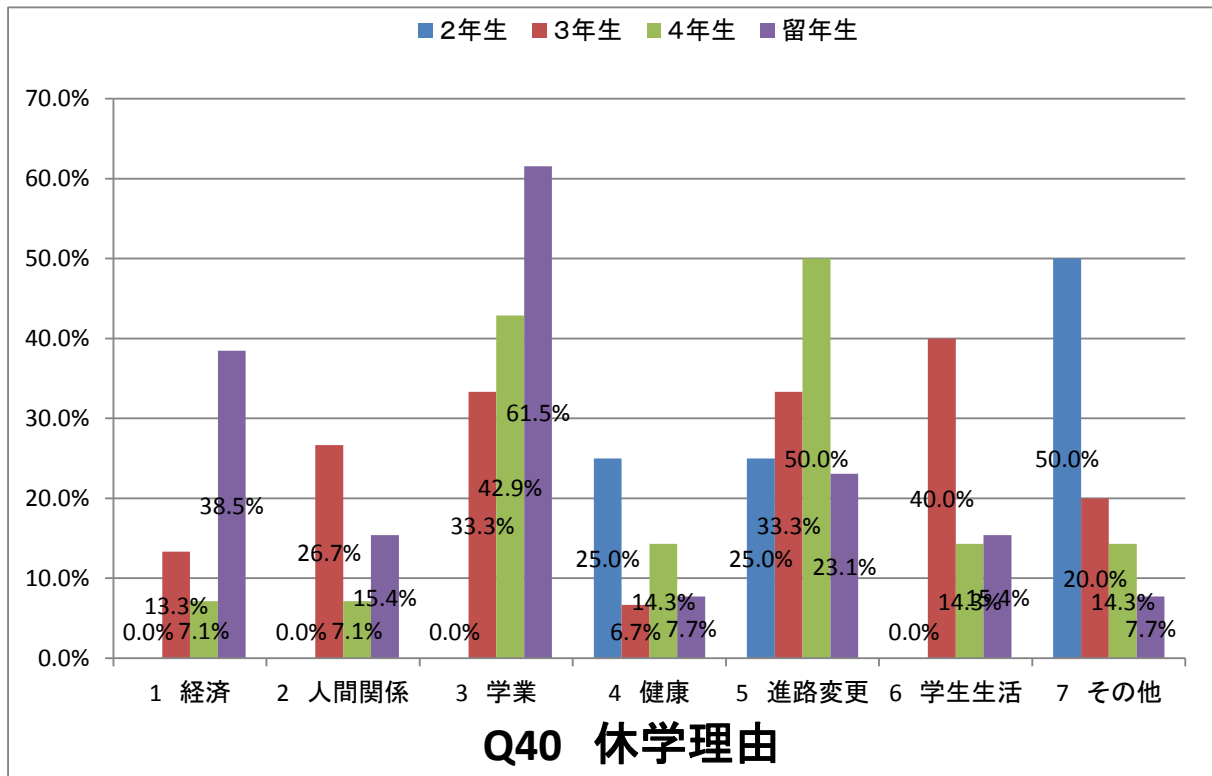
Q39 と 学年 のクロス表

		学年				合計	
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生		
Q39	1	度数	0	7	3	4	14
		学年の%	.0%	4.6%	2.3%	18.2%	3.3%
	2	度数	4	9	12	9	34
		学年の%	3.4%	5.9%	9.0%	40.9%	8.0%
	3	度数	75	108	104	9	296
		学年の%	64.1%	71.1%	78.2%	40.9%	69.8%
	4	度数	38	28	14	0	80
		学年の%	32.5%	18.4%	10.5%	.0%	18.9%
合計	度数	117	152	133	22	424	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

\$Q40*Q1学年 クロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	4 4年生	4 留年生	
\$Q40 ^a 1	経済 度数	0	2	1	5	8
	Q1学年 の %	0.0%	13.3%	7.1%	38.5%	
2	人間 度数	0	4	1	2	7
	Q1学年 の %	0.0%	26.7%	7.1%	15.4%	
3	学業 度数	0	5	6	8	19
	Q1学年 の %	0.0%	33.3%	42.9%	61.5%	
4	健康 度数	1	1	2	1	5
	Q1学年 の %	25.0%	6.7%	14.3%	7.7%	
5	進路 度数	1	5	7	3	16
	Q1学年 の %	25.0%	33.3%	50.0%	23.1%	
6	学生 度数	0	6	2	2	10
	Q1学年 の %	0.0%	40.0%	14.3%	15.4%	
7	その 度数	2	3	2	1	8
	Q1学年 の %	50.0%	20.0%	14.3%	7.7%	
合計	度数	4	15	14	13	46

パーセンテージは「考えたことがある」者の数値



(5) 学生生活意欲

学生生活意欲を下山（1995）の「意欲低下尺度」を使って検討する。「意欲低下尺度」は大学生の意欲を測定する尺度であり、次の3つの下位尺度で構成されている。学業意欲低下尺度は、勉学への興味を失うなど、学業領域に関しての意欲低下を示す。授業意欲低下尺度は、授業領域に関する意欲低下を示す。大学意欲低下尺度は、大学キャンパスへの所属感がないなど、大学領域に対しての意欲低下を示す。点数は最低が5点、最高が25点である。点数が高いほど意欲が高いことを示す。

2年生、3年生と4年生は、3つの意欲とも評定平均が15点より上で、学業・授業・大学領域について意欲を持っている。留年生は15点より高いのは学業領域だけである。2年生は、授業領域と大学領域が学業領域よりも意欲が高い。3年生と4年生は、大学領域が学業領域と授業領域よりも意欲が高い。

各意欲の学年間での違いをみると、「学業意欲」は学年間で差はみられない。「授業意欲」は2年生が他の学年よりも高い。「大学意欲」は2年生、3年生、4年生が留年生よりも高い。

Q33 次のことはあなたにどの程度あてはまりますか。

- 1 あてはまる 2 どちらかといえばあてはまる 3 どちらともいえない
4 どちらかといえばあてはまらない 5 あてはまらない

1 大学ではいろいろな人と交流がある。	1	2	3	4	5
2 教師に言われなくても自分から進んで勉強する。	1	2	3	4	5
3 何となく授業をさぼることがある。	1	2	3	4	5
4 勉強で疑問に思ったことはすぐに調べる。	1	2	3	4	5
5 大学での時間は自分の生活の中で有意義な時間である。	1	2	3	4	5
6 朝寝坊などで授業に遅れることが多い。	1	2	3	4	5
7 必要な単位以外でも、関心のある授業はとるようにしている。	1	2	3	4	5
8 授業にでる気がしない。	1	2	3	4	5
9 大学にいるより、自分ひとりでいるほうがいい。	1	2	3	4	5
10 大学で勉強することで自分の関心を深めている。	1	2	3	4	5
11 大学からの連絡事項を見落とししてしまうことが多い。	1	2	3	4	5
12 学生生活で打ち込むものがない。	1	2	3	4	5
13 勉強に関する本を読んでもすぐに飽きてしまう。	1	2	3	4	5
14 大学のなかで自分の居場所がないと感じる。	1	2	3	4	5
15 授業の課題の提出に遅れたり、出さなかったりすることがある	1	2	3	4	5

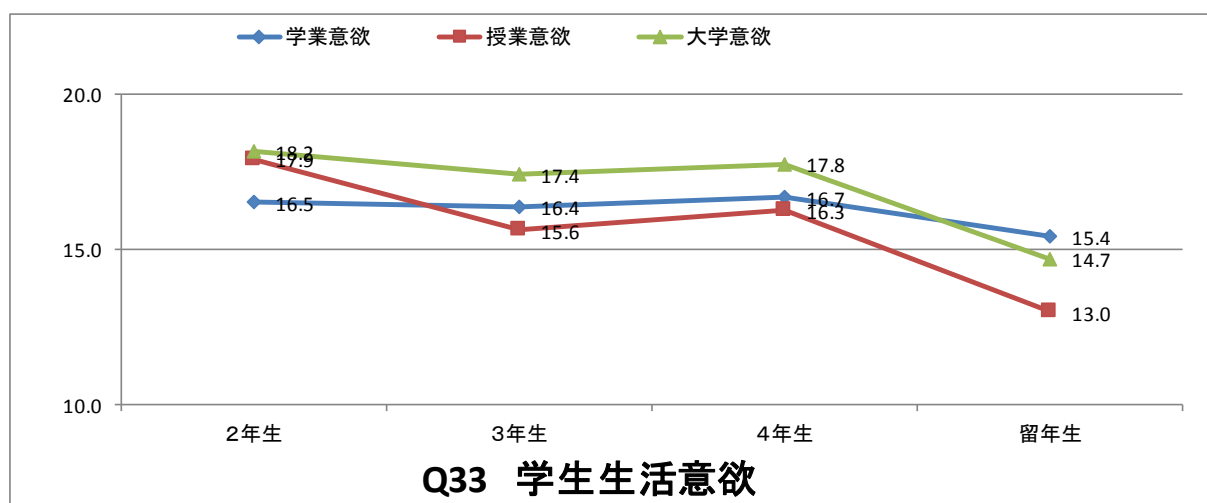
Q33 意欲低下尺度の下位尺度

学業意欲 低下	2 教師に言われなくても自分から進んで勉強する。* 4 勉強で疑問に思ったことはすぐに調べる。* 7 必要な単位以外でも、関心のある授業はとるようにしている。* 10 大学で勉強することで自分の関心を深めている。* 13 勉強に関する本を読んでいてもすぐに飽きてしまう。
授業意欲 低下	3 何となく授業をさぼることがある。 6 朝寝坊などで授業に遅れることが多い。 8 授業にでる気がしない。 11 大学からの連絡事項を見落とししてしまうことが多い。 15 授業の課題の提出に遅れたり、出さなかったりすることがある
大学意欲 低下	1 大学ではいろいろな人と交流がある。* 5 大学での時間は自分の生活の中で有意義な時間である。* 9 大学にいるより、自分ひとりであるほうがいい。 12 学生生活で打ち込むものがない。 14 大学のなかで自分の居場所がないと感じる。

* は逆転項目

Q33 学生生活意欲

		2年生	3年生	4年生	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
学業意欲	平均値	16.5	16.4	16.7	15.4	2年生>3年生、4年生>留年生 2年生、3年生、4年生>留年生
	標準偏差	3.4	3.6	3.4	3.6	
授業意欲	平均値	17.9	15.6	16.3	13.0	
	標準偏差	4.8	4.8	4.4	4.0	
大学意欲	平均値	18.2	17.4	17.8	14.7	
	標準偏差	4.0	3.7	3.5	4.8	
検定結果(5%以下の有意差)		授業、大学 >学業	大学>学業、 授業	大学>学業、 授業	学業>授業	



6. 進路

(1) 卒業後の進路選択

学部卒業後の進路選択としては、大学院進学希望者（選択肢1あるいは2）は、2年生で25.8%、3年生で17.7%、4年生で20.4%、留年生で12.0%である。

就職希望者は、2年生で48.4%、3年生で67.7%、4年生で78.1%、留年生で76.0%である。

起業希望者は、2年生で0.0%、3年生で0.6%、4年生で0.7%、留年生で0.0%である。

未定者は、2年生で24.2%、3年生で12.7%、4年生で0.7%、留年生で12.0%である。

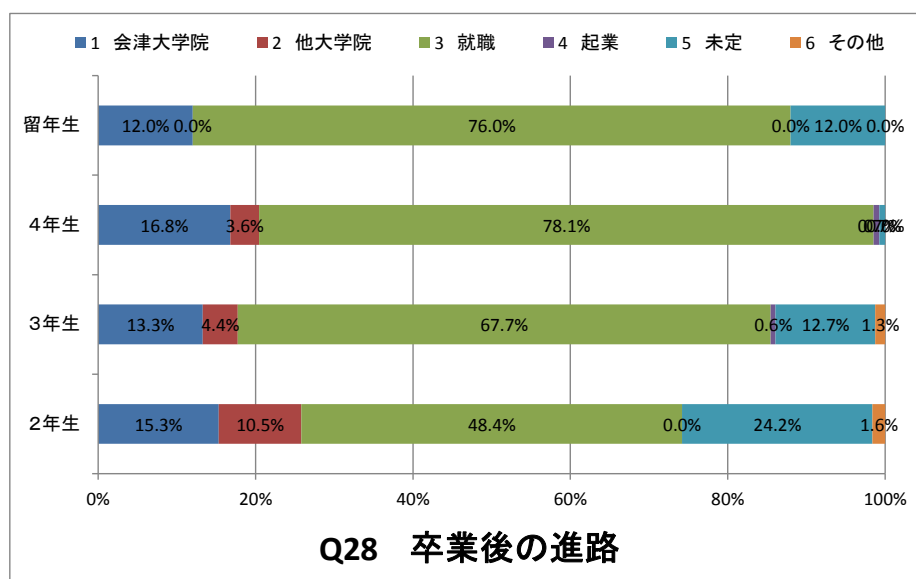
Q28 学部卒業後の進路はどのように希望していますか。

1 会津大学の大学院に進学希望 2 他大学の大学院に進学希望

3 就職希望 4 起業希望 5 未定 6 その他 []

Q28 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q28	1 会大院	度数	19	21	23	3	66
		学年の%	15.3%	13.3%	16.8%	12.0%	14.9%
	2 他大院	度数	13	7	5	0	25
		学年の%	10.5%	4.4%	3.6%	.0%	5.6%
	3 就職	度数	60	107	107	19	293
		学年の%	48.4%	67.7%	78.1%	76.0%	66.0%
	4 起業	度数	0	1	1	0	2
		学年の%	.0%	.6%	.7%	.0%	.5%
	5 未定	度数	30	20	1	3	54
		学年の%	24.2%	12.7%	.7%	12.0%	12.2%
	6 その他	度数	2	2	0	0	4
		学年の%	1.6%	1.3%	.0%	.0%	.9%
合計	度数	124	158	137	25	444	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



(2) 仕事の目標と職業

職業（たとえば、システムエンジニア、プログラマ）は、仕事の目標（たとえば、能力を発揮したい、高い収入を得たい）を実現・表現するための手段である。両者が適切に対応している関係が望ましい。たとえば、専門の能力を発揮するという仕事の目標を実現するうえで〇〇という職業は適切である、というようにである。

選択肢1に答えた者を、仕事の目標もその目標にふさわしい職業もはっきりしているタイプ（「目標明確・職業明確」と呼ぶ）とする。

選択肢2に答えた者を、仕事の目標ははっきりしているが、その目標にふさわしい職業ははっきりしていないタイプ（「目標明確・職業不明確」）とする。

選択肢3に答えた者を、仕事の目標ははっきりしていないが、希望の職業ははっきりしているタイプ（「目標不明確・職業明確」）とする。

選択肢4に答えた者を、仕事の目標も、希望の職業もはっきりしていないタイプ（「目標不明確・職業不明確」）とする。

2年生では、「目標明確・職業不明確」タイプ（31.5%）と「目標不明確・職業不明確」タイプ（30.6%）が多い。3年生では、「目標明確・職業不明確」タイプ（31.0%）と「目標不明確・職業不明確」タイプ（39.2%）が多い。4年生では、「目標明確・職業明確」タイプ（38.0%）と「目標不明確・職業明確」タイプ（28.5%）が多い。留年生では、「目標不明確・職業不明確」タイプ（36.0%）が多い。

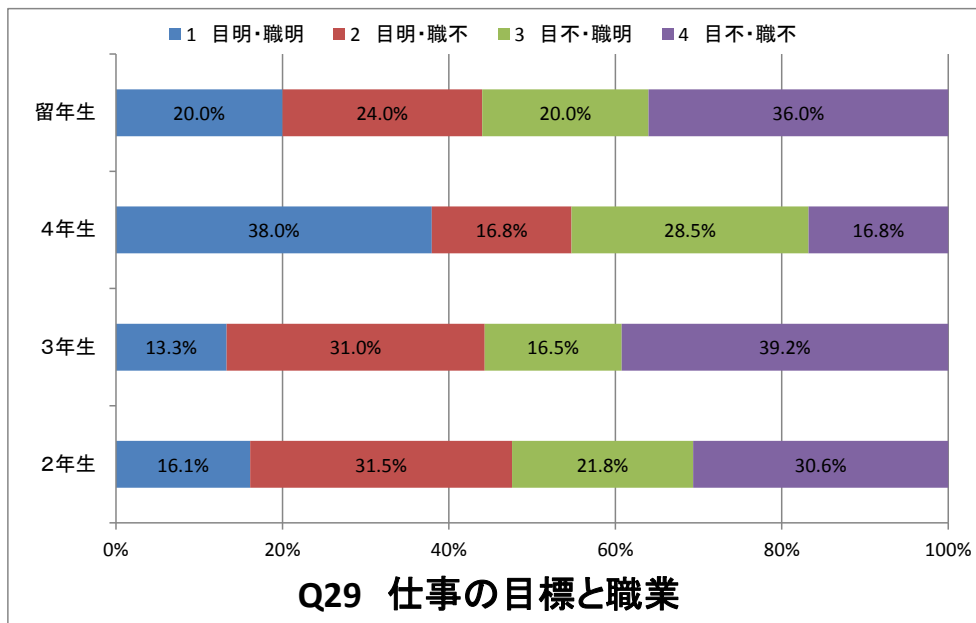
タイプごとに4年生までの学年変化（学年間の違い）をみていくと、「目標明確・職業明確」タイプは、4年生で増加している。「目標明確・職業不明確」タイプは、4年生で減少している。「目標不明確・職業明確」タイプは、4年生でやや増加している。「目標不明確・職業不明確」タイプは、2年生と3年生はほぼ同じ割合だが、4年生で減少している。

Q29 仕事の目標（たとえば、能力を発揮したい、高い収入を得たい、社会に貢献したい）と職業（たとえば、システムエンジニア、プログラマ、公務員）について、現在のあなたに近いのは次のどれですか。

- 1 仕事の目標にしたいことがはっきりしており、その目標を実現するのにふさわしい職業もはっきりしている。
- 2 仕事の目標にしたいことははっきりしているが、その目標を実現するのにふさわしい職業がはっきりしていない。
- 3 希望する職業ははっきりしているが、仕事の目標がはっきりしていない。
- 4 仕事の目標も希望する職業もはっきりしていない。

Q29 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q29	1 目明・職明	度数	20	21	52	5	98
		学年の%	16.1%	13.3%	38.0%	20.0%	22.1%
	2 目明・職不	度数	39	49	23	6	117
		学年の%	31.5%	31.0%	16.8%	24.0%	26.4%
	3 目不・職明	度数	27	26	39	5	97
		学年の%	21.8%	16.5%	28.5%	20.0%	21.8%
	4 目不・職不	度数	38	62	23	9	132
		学年の%	30.6%	39.2%	16.8%	36.0%	29.7%
合計		度数	124	158	137	25	444
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



(3) 進路と大学生活

卒業後の進路を考えるうえで、これまでの大学生活が役立っているとする者（「5 おおいに役立っている」か「4 どちらかといえば役立っている」を選択）は、2年生では68.0%、3年生では64.1%、4年生では75.9%、留年生では48.0%である。

平均値による学年間の比較では、2年生、4年生は留年生よりも役立っていると評価している。

Q30 卒業後の進路を考えるうえで、これまでの大学生活は役立っていますか。

- 5 おおいに役立っている 4 どちらかといえば役立っている 3 どちらともいえない
2 どちらかといえば役立っていない 1 まったく役立っていない

Q30 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q30	1	度数 4	4	3	2	13
		学年の % 3.2%	2.6%	2.2%	8.0%	2.9%
	2	度数 3	10	2	3	18
		学年の % 2.4%	6.4%	1.5%	12.0%	4.1%
	3	度数 33	42	28	8	111
		学年の % 26.4%	26.9%	20.4%	32.0%	25.1%
	4	度数 61	78	73	8	220
		学年の % 48.8%	50.0%	53.3%	32.0%	49.7%
	5	度数 24	22	31	4	81
		学年の % 19.2%	14.1%	22.6%	16.0%	18.3%
合計	度数 125	156	137	25	443	
	学年の % 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

Q30 と 学年 のクロス表

	2年生	3年生	4年生	留年生	検定結果(5%以下の有意差)
平均値	3.8	3.7	3.9	3.4	2年生 > 留年生 4年生 > 3年生、留年生
標準偏差	0.9	0.9	0.8	1.2	

(4) 役立っている大学生活

卒業後の進路を考えるうえで役立っている大学生活は、2年生では、「1 授業」(62.7%)、「3 サークル」(28.9%)、「7 人との交流」(38.6%)である。3年生では、「1 授業」(64.6%)、「3 サークル」(28.1%)、「7 人との交流」(32.3%)である。4年生では、「1 授業」(55.3%)、「6 社会経験」(26.2%)、「7 人との交流」(36.9%)である。留年生では、「1 授業」(50.0%)である。

Q31 卒業後の進路を考えるうえで、役立った大学生活はなんですか。以下から主なもの2つまで選択してください。
(Q30で「役立っている(選択肢の5あるいは4)」に回答した方のみ答えてください。)

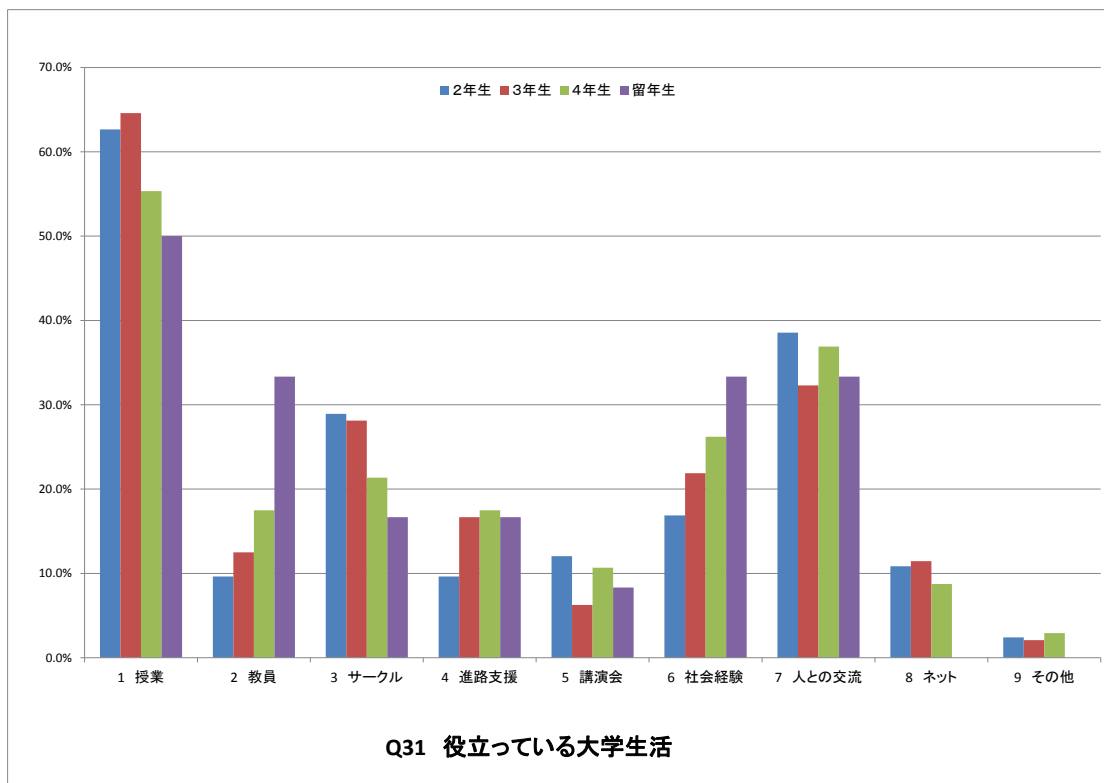
[] []

- 1 授業 2 教員との交流 3 サークル活動 4 大学が行う進路ガイダンスや就職相談などの進路支援
5 学内で行われる研究者や産業人の講演会・セミナー 6 バイトやインターン・シップなどの社会経験
7 友人・社会人などさまざまな人との交流 8 ネットでの情報収集・交換 9 その他()

§Q31*Q1学年 クロス表

	学年				合計	
	1 2年生	2 3年生	4 4年生	4 留年生		
§Q31*	1 授業 度数	52	62	57	6	177
	Q1学年の%	62.7%	64.6%	55.3%	50.0%	
2 教員	度数	8	12	18	4	42
	Q1学年の%	9.6%	12.5%	17.5%	33.3%	
3 サークル	度数	24	27	22	2	75
	Q1学年の%	28.9%	28.1%	21.4%	16.7%	
4 進路支援	度数	8	16	18	2	44
	Q1学年の%	9.6%	16.7%	17.5%	16.7%	
5 講演会	度数	10	6	11	1	28
	Q1学年の%	12.0%	6.3%	10.7%	8.3%	
6 社会経験	度数	14	21	27	4	66
	Q1学年の%	16.9%	21.9%	26.2%	33.3%	
7 人との交流	度数	32	31	38	4	105
	Q1学年の%	38.6%	32.3%	36.9%	33.3%	
8 ネット	度数	9	11	9	0	29
	Q1学年の%	10.8%	11.5%	8.7%	0.0%	
9 その他	度数	2	2	3	0	7
	Q1学年の%	2.4%	2.1%	2.9%	0.0%	
合計	度数	83	96	103	12	294

パーセンテージは「役に立った」者の数値



7. 健康

(1) 不安や悩みの有無

不安や悩みがある学生は2年生が28.3%、3年生が40.1%、4年生が45.5%、留年生が50.0%である。

Q41 不安や悩みがありますか。

- 1 不安・悩みがある 2 不安・悩みはない (Q42へ)

Q41 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q41	1	度数	34	61	60	11	166
		学年の%	28.3%	40.1%	45.5%	50.0%	39.0%
	2	度数	86	91	72	11	260
		学年の%	71.7%	59.9%	54.5%	50.0%	61.0%
合計		度数	120	152	132	22	426
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 不安や悩みの種類

不安や悩みの種類で比率が高いのが「1 学業」、「6 就職や将来の進路」である。「1 学業」は上位の学年ほど比率が低く、「6 就職や将来の進路」は上位の学年ほど比率が高い。

Q45 それほどどのような不安・悩みですか。次のものから3つまで選んでください。

[] [] []

- 1 学業 2 健康 3 性格・能力 4 人生観 5 課外活動 6 就職や将来の進路
7 友人等の対人関係のこと 8 異性の問題 9 性の問題 10 経済問題 (家計、学費、ローン)
11 家族や家庭内のこと 12 その他 []

\$Q41*Q1学年 クロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
\$Q41 ^a 1	度数	25	39	27	10	101
	Q1学年の%	73.5%	66.1%	46.6%	90.9%	
2	度数	6	12	8	2	28
	Q1学年の%	17.6%	20.3%	13.8%	18.2%	
3	度数	12	17	20	4	53
	Q1学年の%	35.3%	28.8%	34.5%	36.4%	
4	度数	3	13	12	3	31
	Q1学年の%	8.8%	22.0%	20.7%	27.3%	
5	度数	2	2	0	0	4
	Q1学年の%	5.9%	3.4%	0.0%	0.0%	
6	度数	12	39	50	9	110
	Q1学年の%	35.3%	66.1%	86.2%	81.8%	
7	度数	6	10	6	1	23
	Q1学年の%	17.6%	16.9%	10.3%	9.1%	
8	度数	5	3	2	0	10
	Q1学年の%	14.7%	5.1%	3.4%	0.0%	
9	度数	1	1	1	0	3
	Q1学年の%	2.9%	1.7%	1.7%	0.0%	
10	度数	7	5	9	3	24
	Q1学年の%	20.6%	8.5%	15.5%	27.3%	
11	度数	3	4	1	1	9
	Q1学年の%	8.8%	6.8%	1.7%	9.1%	
12	度数	1	2	0	0	3
	Q1学年の%	2.9%	3.4%	0.0%	0.0%	
合計	度数	34	59	58	11	162

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. グループ(O)

(3) 喫煙の有無

全体の 95.9%が非喫煙者である。

Q43 喫煙はしますか。

1 はい

2 いいえ

Q43 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2 年生	2 3 年生	3 4 年生	4 留年生	
Q43	1	度数	1	8	7	2	18
		学年の%	0.8%	5.3%	5.2%	9.1%	4.2%
	2	度数	119	143	127	20	409
		学年の%	99.2%	94.7%	94.8%	90.9%	95.8%
合計		度数	120	151	134	22	427
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 飲酒の有無

飲酒をする者は、全体の 51.5%である。3 年生以降で飲酒率が 6 割を超える。

Q44 飲酒はしますか。

1 はい

2 いいえ

Q44 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2 年生	2 3 年生	3 4 年生	4 留年生	
Q44	1	度数	19	98	83	9	209
		学年の%	16.2%	71.0%	64.3%	40.9%	51.5%
	2	度数	98	40	46	13	197
		学年の%	83.8%	29.0%	35.7%	59.1%	48.5%
合計		度数	117	138	129	22	406
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) インターネット依存

「よくある」「ときどきある」と答えたネット依存傾向にある学生は全体の61.4%である。

Q34 PC・携帯でインターネットに接続する時間が長くなり、日常生活に支障が出てきても、ネットから離れにくいということがありますか。

4 よくある 3 ときどきある 2 あまりない 1 まったくない

Q34 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q34 1	度数	12	11	10	2	35	
	学年の%	10.0%	7.1%	7.4%	8.7%	8.1%	
2	度数	46	42	37	7	132	
	学年の%	38.3%	27.3%	27.2%	30.4%	30.5%	
3	度数	44	59	66	6	175	
	学年の%	36.7%	38.3%	48.5%	26.1%	40.4%	
4	度数	18	42	23	8	91	
	学年の%	15.0%	27.3%	16.9%	34.8%	21.0%	
合計	度数	120	154	136	23	433	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(6) 体重のコントロール

意識的に体重のコントロールを実践している者は、全体の38.2%である。3年生の実践者が多い。

Q45 自分の体重を認識し、意識的に体重コントロールを実践していますか。

1 はい 2 いいえ

Q45 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	4 4年生	4 留年生	
Q45 1	度数	41	57	47	9	154	
	学年の%	35.3%	41.6%	36.7%	40.9%	38.2%	
2	度数	75	80	81	13	249	
	学年の%	64.7%	58.4%	63.3%	59.1%	61.8%	
合計	度数	116	137	128	22	403	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(7) 違法薬物使用

2名が違法薬物を使った人がいたと答えている。

Q46 この一年間で、あなたの身近で覚醒剤や大麻等の違法薬物を使った人がいましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q46 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q46 1	度数	0	2	0	0	2	
	学年の%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.5%	
2	度数	117	135	128	22	402	
	学年の%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	99.5%	
合計	度数	117	137	128	22	404	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(8) 違法薬物の誘い

違法薬物の購入や体験を誘われた学生はいない。

Q47 この一年間で、覚醒剤や大麻等の違法薬物の購入や体験を誘われたことがありましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q47 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q47 2	度数	117	137	127	22	403	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
合計	度数	117	137	127	22	403	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(9) 受動喫煙の害

全体の 96.8%が受動喫煙の害について認識している。

Q48 受動喫煙の害について知っていますか。

3 よく知っている 2 少し知っている 1 知らない

Q48 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2 年生	2 3 年生	3 4 年生	4 留年生	
Q48 1	度数	5	5	3	0	13
	学年の%	4.3%	3.6%	2.3%	0.0%	3.2%
2	度数	45	39	42	6	132
	学年の%	38.5%	28.3%	32.8%	27.3%	32.6%
3	度数	67	94	83	16	260
	学年の%	57.3%	68.1%	64.8%	72.7%	64.2%
合計	度数	117	138	128	22	405
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(10) 身体的健康

身体的健康について4件法で尋ねた。全体の86.4%が「健康である」「ほぼ健康である」と答えている。健康である。学年と回答との関連性を検討するためカイ二乗検定を行ったところ、有意差は検出されなかった。

Q49 あなたの身体面の健康についてあてはまるものを選んで下さい。

- 1 健康である 2 ほぼ健康である 3 あまり健康ではない 4 健康ではない

Q49 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q49 1	度数	38	37	36	5	116	
	学年の%	32.5%	26.8%	28.3%	22.7%	28.7%	
2	度数	66	82	73	12	233	
	学年の%	56.4%	59.4%	57.5%	54.5%	57.7%	
3	度数	12	17	16	5	50	
	学年の%	10.3%	12.3%	12.6%	22.7%	12.4%	
4	度数	1	2	2	0	5	
	学年の%	0.9%	1.4%	1.6%	0.0%	1.2%	
合計	度数	117	138	127	22	404	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(11) 精神的健康

精神的健康について4件法で尋ねた。全体の83.7%が「健康である」「ほぼ健康である」と答えている。学年と回答との関連性を検討するためカイ二乗検定を行ったところ、有意差が検出された。

残差分析の結果、「健康ではない」の比率は2年生で低く、4年生、留年生で高い傾向にあった。

Q50 あなたの精神面の健康についてあてはまるものを選んで下さい。

- 1 健康である 2 ほぼ健康である 3 あまり健康ではない 4 健康ではない

Q50 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q50 1	度数	39	43	31	5	118
	学年の%	33.3%	31.2%	24.2%	22.7%	29.1%
2	度数	66	74	73	8	221
	学年の%	56.4%	53.6%	57.0%	36.4%	54.6%
3	度数	12	18	17	6	53
	学年の%	10.3%	13.0%	13.3%	27.3%	13.1%
4	度数	0	3	7	3	13
	学年の%	0.0%	2.2%	5.5%	13.6%	3.2%
合計	度数	117	138	128	22	405
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	2年生	3年生	4年生	留年生
1 健康である	1.185 ns	0.644 ns	-1.48 ns	-0.68 ns
2 ほぼ健康である	0.475 ns	-0.275 ns	0.677 ns	-1.763 +
3 あまり健康ではない	-1.076 ns	-0.018 ns	0.079 ns	2.029 *
4 健康ではない	-2.336 *	-0.85 ns	1.753 +	2.853 **

+p<.10 *p<.05 **p<.01

(12) 朝食の有無

朝食の有無について4件法で尋ねた。全体の39.1%が「毎日食べている」と答えている。

学年と回答との関連性を検討するためカイ二乗検定を行ったところ、有意差が検出された。

残差分析の結果、「毎日食べている」比率は2年生では高い傾向にある一方で、3年生、4年生では低い傾向にあった。3年生で「食べない」、4年生で「週4～5日食べない」比率が多い傾向にあった。

Q51 あなたは普段朝食を食べますか。

- 1 毎日食べている 2 週2～3日食べない 3 週4～5日食べない 4 食べない

Q51 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q51	1	度数	62	42	41	13	158
		学年の%	53.0%	30.4%	32.0%	61.9%	39.1%
	2	度数	34	46	42	3	125
		学年の%	29.1%	33.3%	32.8%	14.3%	30.9%
	3	度数	13	20	25	1	59
		学年の%	11.1%	14.5%	19.5%	4.8%	14.6%
	4	度数	8	30	20	4	62
		学年の%	6.8%	21.7%	15.6%	19.0%	15.3%
合計		度数	117	138	128	21	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	2年生		3年生		4年生		留年生	
1 毎日食べている	3.651 **	▲	-2.573 *	▽	-1.985 *	▽	2.199 *	▲
2 週2～3日たべない	-0.522 ns		0.749 ns		0.554 ns		-1.696 +	▽
3 週4～5日たべない	-1.269 ns		-0.046 ns		1.91 +	▲	-1.312 ns	
4 食べない	-3.03 **	▽	2.568 *	▲	0.106 ns		0.483 ns	

+p<.10 *p<.05 **p<.01

(13) 学生相談室・保健室

1) 相談室

「困ったときに相談する人」は、全体の76.7%が「いる」と答えているが、留年生では54.5%である。
 「何かあったら相談室に行ってみようと思う」には、全体の40.6%が利用してみようと思っている。
 「自己・他者理解を深めるグループプログラム」には、全体の53.2%が興味を持っており、2年生の比率が高い。

2) 保健室

「保健室の存在」は、全体の98.0%、「場所」は、全体の96.0%が認識している。「利用日時」は、全体の67.6%が認識しておらず、2年生の認識していない比率が高い。

「体組成計を使った健康管理」は、全体の37.6%が希望しており、上位の学年ほど比率が高い。

Q52 会津大学の学生相談室及び保健室についてお答えください。

1	困ったときに相談する人はいますか	1 はい 2 いいえ
2	何かあったら相談室に行ってみようと思いますか	1 はい 2 いいえ
3	話しあいを通じて自分のコミュニケーションスタイルを学んだり、自己理解・他者理解を深めたりすることを目的としたグループ・プログラムに興味がありますか	1 はい 2 いいえ
4	保健室があることを知っていますか	1 はい 2 いいえ
5	保健室の場所を知っていますか	1 はい 2 いいえ
6	保健室の利用時間を知っていますか	1 はい 2 いいえ
7	保健室の体組成計を使って、意識的に健康管理をしたいと思えますか	1 はい 2 いいえ

Q52-1 と 学年 のクロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-1 1	度数	90	107	100	12	309
	学年の%	76.9%	78.7%	78.1%	54.5%	76.7%
2	度数	27	29	28	10	94
	学年の%	23.1%	21.3%	21.9%	45.5%	23.3%
合計	度数	117	136	128	22	403
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-2 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-2	1	度数	41	56	56	11	164
		学年の%	35.0%	40.9%	43.8%	50.0%	40.6%
	2	度数	76	81	72	11	240
		学年の%	65.0%	59.1%	56.3%	50.0%	59.4%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-3 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-3	1	度数	71	63	70	11	215
		学年の%	60.7%	46.0%	54.7%	50.0%	53.2%
	2	度数	46	74	58	11	189
		学年の%	39.3%	54.0%	45.3%	50.0%	46.8%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-4 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-4	1	度数	113	135	126	21	395
		学年の%	96.6%	98.5%	99.2%	95.5%	98.0%
	2	度数	4	2	1	1	8
		学年の%	3.4%	1.5%	0.8%	4.5%	2.0%
合計		度数	117	137	127	22	403
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-5 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-5	1	度数	112	128	127	21	388
		学年の%	95.7%	93.4%	99.2%	95.5%	96.0%
	2	度数	5	9	1	1	16
		学年の%	4.3%	6.6%	0.8%	4.5%	4.0%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-6 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-6	1	度数	26	48	44	13	131
		学年の%	22.2%	35.0%	34.4%	59.1%	32.4%
	2	度数	91	89	84	9	273
		学年の%	77.8%	65.0%	65.6%	40.9%	67.6%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q52-7 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q52-7	1	度数	32	53	54	12	151
		学年の%	27.6%	39.0%	42.2%	54.5%	37.6%
	2	度数	84	83	74	10	251
		学年の%	72.4%	61.0%	57.8%	45.5%	62.4%
合計		度数	116	136	128	22	402
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(14) 就学支援室・就職支援室

「就学支援室と就職支援室との違い」を全体の72.3%の学生が認識している学生は、2年生が59.0%、3年生が66.4%、4年生が89.8%と、学年が上がるにつれて比率が高くなる傾向にある。

「就学支援室の存在」を全体の96.3%の学生が知っている。

「就学支援室の場所」を全体の93.1%の学生が知っている。

全体の85.4%の学生が就学支援室を利用したことがある。

全体の70.3%の学生が就学支援室を利用したいと思っている。

「就職支援室の存在」を知っている学生は、2年生が54.7%、3年生が63.5%、4年生が96.1%と、学年が上がるにつれて増えている。4年生では95%を超えている。

「就職支援室の場所」を知っている学生は、2年生が30.8%、3年生が43.8%、4年生が92.2%と、3年生までは5割未満である。4年生では90%を超えている。

「就職支援室を利用したことがある」学生は、2年生が9.4%、3年生が19.0%、4年生が73.4%と、3年生までは2割未満である。4年生では70%を超えている。

「就職支援室を利用したいと思っている」学生は、2年生が59.0%、3年生が65.0%、4年生が84.4%と、学年が上がるにつれて増えている。4年生で70%を超えている。

Q53 会津大学の修学支援室及び就職支援室についてお答えください。

1	修学支援室と就職支援室との違いを知っていますか	1 はい 2 いいえ
2	修学支援室があることを知っていますか	1 はい 2 いいえ
3	修学支援室の場所を知っていますか	1 はい 2 いいえ
4	修学支援室を利用したことがありますか	1 はい 2 いいえ
5	修学支援室を利用したいと思いますか	1 はい 2 いいえ
6	就職支援室があることを知っていますか	1 はい 2 いいえ
7	就職支援室の場所を知っていますか	1 はい 2 いいえ
8	就職支援室を利用したことがありますか	1 はい 2 いいえ
9	就職支援室を利用したいと思いますか	1 はい 2 いいえ

Q53-1 と 学年 のクロス表

		学年				合計	
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生		
Q53-1	1	度数	69	91	115	17	292
		学年の%	59.0%	66.4%	89.8%	77.3%	72.3%
	2	度数	48	46	13	5	112
		学年の%	41.0%	33.6%	10.2%	22.7%	27.7%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-2 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-2	1	度数	114	129	125	21	389
		学年の%	97.4%	94.2%	97.7%	95.5%	96.3%
	2	度数	3	8	3	1	15
		学年の%	2.6%	5.8%	2.3%	4.5%	3.7%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-3 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-3	1	度数	110	125	121	20	376
		学年の%	94.0%	91.2%	94.5%	90.9%	93.1%
	2	度数	7	12	7	2	28
		学年の%	6.0%	8.8%	5.5%	9.1%	6.9%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-4 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-4	1	度数	104	111	113	17	345
		学年の%	88.9%	81.0%	88.3%	77.3%	85.4%
	2	度数	13	26	15	5	59
		学年の%	11.1%	19.0%	11.7%	22.7%	14.6%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-5 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-5	1	度数	86	98	89	11	284
		学年の%	73.5%	71.5%	69.5%	50.0%	70.3%
	2	度数	31	39	39	11	120
		学年の%	26.5%	28.5%	30.5%	50.0%	29.7%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-6 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-6	1	度数	64	87	123	20	294
		学年の%	54.7%	63.5%	96.1%	90.9%	72.8%
	2	度数	53	50	5	2	110
		学年の%	45.3%	36.5%	3.9%	9.1%	27.2%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-7 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-7	1	度数	36	60	118	20	234
		学年の%	30.8%	43.8%	92.2%	90.9%	57.9%
	2	度数	81	77	10	2	170
		学年の%	69.2%	56.2%	7.8%	9.1%	42.1%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-8 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-8	1	度数	11	26	94	13	144
		学年の%	9.4%	19.0%	73.4%	59.1%	35.6%
	2	度数	106	111	34	9	260
		学年の%	90.6%	81.0%	26.6%	40.9%	64.4%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q53-9 と学年のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q53-9	1	度数	69	89	108	15	281
		学年の%	59.0%	65.0%	84.4%	68.2%	69.6%
	2	度数	48	48	20	7	123
		学年の%	41.0%	35.0%	15.6%	31.8%	30.4%
合計		度数	117	137	128	22	404
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(15) 勉強や研究で困った際の対処

勉強や研究で困った際には、在学生の約9割が先輩や友人に相談している。

Q54 勉強や研究のことで困った際はどのようにしていますか。以下から該当するものを全て選んでください。

- 1 先生に相談する 2 先輩や友人に相談する 3 修学支援室を利用する
 4 学生課に相談する 5 何もしない 6 勉強や研究のことでは困らない
 7 その他 ()

\$Q54*Q1学年 クロス表

		学年				合計
		1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
\$Q54 ^a	Q54-1 度数	17	25	52	2	96
	Q1学年の%	15.3%	18.4%	42.6%	9.5%	
	Q54-2 度数	103	124	111	13	351
	Q1学年の%	92.8%	91.2%	91.0%	61.9%	
	Q54-3 度数	41	38	31	2	112
	Q1学年の%	36.9%	27.9%	25.4%	9.5%	
	Q54-4 度数	2	3	3	2	10
	Q1学年の%	1.8%	2.2%	2.5%	9.5%	
	Q54-5 度数	5	7	4	4	20
	Q1学年の%	4.5%	5.1%	3.3%	19.0%	
	Q54-6 度数	1	0	1	0	2
	Q1学年の%	0.9%	0.0%	0.8%	0.0%	
	Q54-7 度数	3	3	1	2	9
	Q1学年の%	2.7%	2.2%	0.8%	9.5%	
合計	度数	111	136	122	21	390

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2分グループを値1で集計します。

8. その他

(1) セクシャルハラスメント

セクシャルハラスメント或いはアカデミックハラスメントを受けたことがあると答えた学生は2年生 1名、3年生 2名、4年生 1名、留年生 2名の計 6名（全て男性）で、「誰かに相談した」のは2年生 1名、3年生 2名、4年生 1名、の計 4名留年生 1名である。相談しなかったのは留年生 1名で、相談しなかった理由は「誰に相談していいかわからなかったから」である。

Q55 この一年間で、大学関係者（教職員、院生・学生）からセクシャルハラスメント（セクハラ）あるいはアカデミックハラスメント（アカハラ）を受けたことがありますか。

- 1) 1 受けたことがある 2 受けたことがない (Q56へ)
- 2) 【1) で「1 受けたことがある」と答えた方へ】 誰かに相談しましたか。
 - 1 はい 2 いいえ
- 3) 【2) で「2 いいえ」と答えた方へ】 相談しなかったのはなぜですか。
 - 1 誰に相談していいかわからなかったから
 - 2 たいしたことではないから
 - 3 その他

()

Q55-1 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q55-1	1	度数	1	2	1	2	6
		学年の%	0.9%	1.5%	0.8%	9.1%	1.5%
	2	度数	114	133	126	20	393
		学年の%	99.1%	98.5%	99.2%	90.9%	98.5%
合計		度数	115	135	127	22	399
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q55-2 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
Q55-2	1	度数	1	2	1	1	5
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	83.3%
	2	度数	0	0	0	1	1
		学年の%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%
合計		度数	1	2	1	2	6
		学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q55-3 と 学年 のクロス表

		学年	
		4 留年生	合計
Q55-3 1	度数	1	1
	学年の%	100.0%	100.0%
合計	度数	1	1
	学年の%	100.0%	100.0%

(2) 放射線等の心配

放射線等の心配をしている学生は全体の 15.8%である。

Q56 放射線等について、心配はありますか。

4 とても心配している 3 少し心配している 2 あまり心配していない 1 まったく心配していない

Q56 と 学年 のクロス表

			学年				合計
			1 2 年生	2 3 年生	3 4 年生	4 留年生	
Q56 1	度数	52	53	54	8	167	
	学年の%	45.2%	39.0%	42.5%	36.4%	41.8%	
2	度数	49	57	52	12	170	
	学年の%	42.6%	41.9%	40.9%	54.5%	42.5%	
3	度数	14	23	20	1	58	
	学年の%	12.2%	16.9%	15.7%	4.5%	14.5%	
4	度数	0	3	1	1	5	
	学年の%	0.0%	2.2%	0.8%	4.5%	1.3%	
合計	度数	115	136	127	22	400	
	学年の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

(3) 放射線等の対策

全体の約 9 割の学生は特に対策をしていない。

Q57 放射線等の対策をしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 1 外出の際には、マスクの着用などの対策をしている
- 2 飲食物に気を使っている
- 3 外出先の放射線量に注意している
- 4 それ以外の対策をしている → ()
- 5 対策をしていない

\$Q57*Q1学年 クロス表

			学年				合計
			1 2年生	2 3年生	3 4年生	4 留年生	
\$Q57 ^a	Q57-1	度数	0	5	3	0	8
		Q1学年の%	0.0%	3.8%	2.4%	0.0%	
	Q57-2	度数	5	6	4	0	15
		Q1学年の%	4.4%	4.6%	3.3%	0.0%	
	Q57-3	度数	0	2	2	1	5
		Q1学年の%	0.0%	1.5%	1.6%	4.8%	
	Q57-5	度数	109	119	116	20	364
		Q1学年の%	95.6%	90.8%	94.3%	95.2%	
合計		度数	114	131	123	21	389

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

a. 2分グループを値1で集計します。

引用・参考文献

- ベネッセ教育総研 2001 報告書「学生満足度と大学教育の問題」
- 菊地 則行 2000 98 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第6号 61-79
- 菊地 則行 2002 2000 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計：学習生活の違いによる分析－ 会津大学文化研究センター研究年報 第8号 23-47
- 菊地 則行 2004 2002 年度会津大学生の生活と意識 2－クロス集計：学習スタイルの違いによる分析－ 会津大学文化研究センター研究年報 第10号 39-61
- 菊地 則行・中澤 謙 1999 98 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第5号 61-79 報 第6号 37-89
- 菊地 則行・中澤 謙 2001 2000 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第7号 63-86 会津大学文化研究センター研究年報 第8号 23-47
- 菊地 則行・中澤 謙 2003 2002 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第9号 133-174
- 菊地 則行・中澤 謙 2005 2004 年度会津大新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第11号 33-50
- 菊地 則行・中澤 謙 2007 2006 年度会津大生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第13号 97-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2009 2008 年度会津大新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第15号 53-71
- 菊地 則行・中澤 謙 2011 2010 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第17号 91-137
- 菊地 則行・中澤 謙 2013 2012 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第19号 109-132
- 菊地 則行・中澤 謙 2015 2014 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第21号 137-188
- 溝上 慎一 2001 大学生の自己と生き方－大学生固有の意味世界に迫る大学生心理学－ ナカニシヤ
- 溝上 慎一 2002 大学生論－戦後大学生論の系譜をふまえて－ ナカニシヤ
- 溝上 慎一 2004 現代大学生論－ユニバーシティ・ブルーの風に揺れる－ NHK ブックス
- 中澤 謙・菊地 則行 1999 98 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第5号 81-111
- 中澤 謙・菊地 則行 2001 2000 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第7号 87-136
- 中澤 謙・菊地 則行 2003 2002 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第9号 113-131
- 中澤 謙・菊地 則行 2005 2004 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第11号 51-92
- 中澤 謙・菊地 則行 2007 2006 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第13号 139-157

中澤 謙・菊地 則行 2009 2008 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 15 号 73-113

中澤 謙・菊地 則行 2011 2010 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 17 号 69-90

中澤 謙・菊地 則行 2013 2012 年度会津大学生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 19 号 133-193

中澤 謙・菊地 則行 2015 2014 年度会津大学新入生の生活と意識 1－基礎集計－ 会津大学文化研究センター研究年報 第 21 号 111-134

日本私立大学連盟 1992 キャンパスライフこの 20 年 開成出版

日本私立大学連盟 1995 第 9 回学生生活実態調査報告書

執筆分担

I、II 中澤・菊池

III-3、4、5、6 菊地

III-1、2、7、8 中澤

本報告書は、会津大学学生支援委員会が行った調査を菊地と中澤がまとめたものである。